

令和7年度 内子高等学校 シラバス

| | | | | | | | |
|-----|---------------|------|------------------|-----|-----|-----|-----|
| 教 科 | 数学 | 科 目 | 数学B | 単位数 | 2単位 | 学 年 | 2学年 |
| 教科書 | 新編 数学B (数研出版) | 副教材等 | クリアー数学Ⅱ+B (数研出版) | | | | |

1 学習の目標

数列、統計的な推測について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を養う。

2 学習の内容

| 学期 | 単元・項目 | 学習の内容 | 備考 |
|------|--|--|------|
| 第1学期 | 第1章 数列 第1節 等差数列と等比数列 第2節 いろいろな数列 第3節 漸化式と数学的帰納法 | <ul style="list-style-type: none"> 事象の離散的な変化の規則性を数学的に表現し考察します。 日常や社会の事象の問題解決に数列の考えを活用します。 自然の性質を数学的帰納法を用いて証明するとともに、他の証明方法と比較し多面的に考察します。 | 期末考査 |
| 第2学期 | 第2章 統計的な推測 第1節 確率分布 第2節 統計的な推測 | <ul style="list-style-type: none"> 確率分布や標本分布の特徴を、平均、分散、標準偏差を用いて考察します。 母集団の特徴や傾向を推測し判断する力を養います。 標本調査の方法や結果を批判的に考察します。 | 期末考査 |
| 第3学期 | | | |

3 評価の規準

【知識・技能】

数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数式化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考・判断・表現】

離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数式化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。

【主体的に学習に取り組む態度】

数学のよさを認識し、数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

4 評価方法

学期ごとに、評価の規準の3つの観点から、学習活動への取組、定期考査、単元テスト、小テスト、課題提出について評価します。また、各学期の評価を総括し、学年末の成績をA・B・Cで評価します。

5 学習のアドバイス

毎日、復習を確実に行いましょう。授業中に理解できなかったところは、その日のうちに授業担当教員に質問するなどして理解に努め、日々の学習内容を確実に理解しましょう。演習で解けなかった問題については、答えを見て解けるようになった後でも、同じ問題を何度も解いて内容を定着させるようにしましょう。